広報文芸

自由律俳句

おおくさの会編集室選

さつま芋一株豊作によろめいている　茶屋　藤原　寿郎
衣替え断捨離すみあの服は　宝谷　長尾　智恵
間引き菜の青味浮かせた今朝の味噌汁　茶屋　小林　道子
中秋の名月どこにいるのかお月さま　茶屋　長谷川由美子
涼しさは寒さに変わり冬布団青天に干す　生山　渡辺　圭子

俳句

駄句駄句会編集室

暴落で政権呪う刈田かな　萩原　岡本　健三
霧深し大山なかなか顔みせず　宮内　木村萬佐子
街の子に故郷の香の新米を　宮内　田邊登志美
ほの暗く固まり咲きしほととぎす　宮内　舩越　裕子
芒の穂吹かるるのみの屋敷跡　矢戸　和田　淑子
庭先に尾花のゆれて友をまつ　菅沢　秦節
「いってこい」棺をたたくは秋雨か　下石見　矢田貝　元

短歌

年末は喪中の便り次々と　なつかしい顔浮かんでは消え　湯河　山田　司郎
凩（こがらし）や寒気到来山々が　裸になってこの葉舞い散る　下石見　浅川　三郎
木枯らしが空を舞い上げ寒来たる　風に向かいてノルディックウォーク　上石見　福田　輝之
師走には年神様を迎える行事　しめ縄飾り紙垂を付けさす　上石見　福田　輝之
歳が増え病が増えて薬増え　筋肉減ってやる気も減った　下石見　佐伯みすず

広報にちなんでは、みなさんから投稿のあった俳句・短歌・川柳をご紹介しています。個人での投稿もできますので、お気軽に送付ください。

「手話教室のお知らせ」

手の動きや顔の表情で意思を伝える手話。鳥取県では手話言語条例制定後、手話を見かける機会が増えています。日南町手話サークルでは、1ケ月に2回のペースで基本的な手話の学習会を開催しています。手話に興味をお持ちの方は、一緒に手話を学んでみませんか。

12月の日程

6日(日)14時～15時30分
場所　文化センター第3研修室
【問合せ】
石田由香里（080-3052-9933）
浅野　博美（090-9734-1887）



「牡蠣」
左手のたたを曲げた立てた左手のひらを曲げた右手の人差し指の指先で2回ひっかく。（殻から身をはがす仕草）



「カニ」
両肩の上でピースした両手をチョキチョキと開閉させる。



「鍋」
両手の親指と他の4指を丸くした形にして指先を向い合わせ構え、鍋をイメージして上に上げながら指をくっつける。



「煮る・炊事」
左手を湾曲させて器の形にして右手は全ての指を軽くすぼめる形にして炎にみたて下から上に指先を左手の甲に2・3回当てる。

※「手話表現には、色々な表現方法があります。」